

高岡市とその周辺婦人の健康と とりくんで

高岡市農協生活指導課

都市化の波に乗せられて、どこの家でも、カラーテレビに乗用車、大型コンバイン、乾燥機、家の台所は電子レンジに腰掛テーブル、近代的超一流品がずらり、疲れて止り木的に帰る立派な家……。

こんな超一流なみの生活様式に住みながら、お金がないお金がないと仕事に明け暮れる毎日毎日……。

帰って来る子供達。すぐにとびつく即席ラーメンや菓子、疲れて帰る主婦のカゴから出て来る即席食品、有害食品……。

健康生活を考えた食事など考えないで「ばかり食や〇〇でも食べなさい」「〇〇しかない」が口ぐせになり、母さんの味などどこにも見られない。

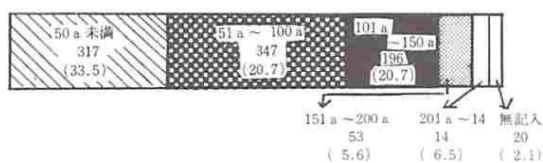
色々書けば、きりの無いくらい、いくらでもある問題……。しかし、これではたして良いのでしょうか？

高岡市農協で実施した山びこアンケートでは農業に重点を於いていない農家が3割もあります。

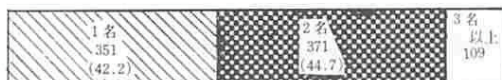
専業、兼業の別 (947戸対象)



耕作農地の面積

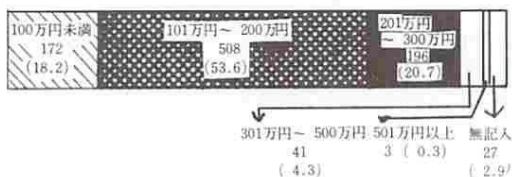


農外勤労収入のある場合その人数 (恒常的) (831戸)

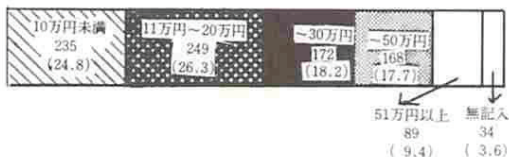


平均耕作面積は6反です。3/4以上の農家で、2名以上安定した職業に勤めています。つまり婦人の働いている家庭が非常に多くなっている？と考えられます。

お家族全員の一年間の所得額

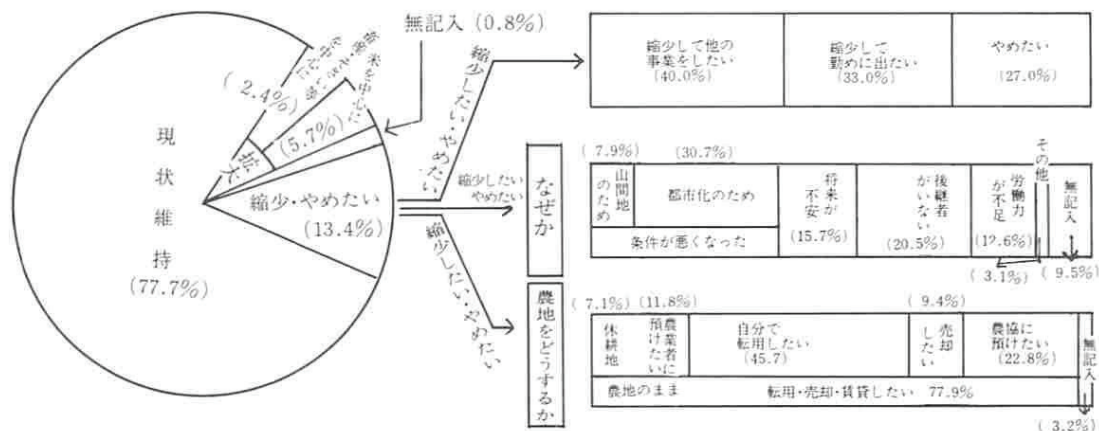


一年間の農業所得



農業所得が22%となり、農業所得が家計に占める割合が徐々に少なくなる反面、主婦が働いて得る所得が多くなる可能性が高くなります。このように農業所得が減少した現在、農業経営に関してどのように考えておられるか聞いてみたところ第1図のようになりました。したがって、農家主婦に課せられる労働は、ますます過重となり、出稼ぎ、朝・晩、日曜農作業、家事、育児 (子供の教育) と気をぬくひまもないくらいです。いかに主婦がよけいに働いているかわかります。それなのに、一番大切な健康につ

第1図 農業経営を今後5年程の間にどのようにしたいか



いての学習や、検診を受けましょうと働きかけても、忙しい、皆勤賞がもらえない、今まで病気がない……。

健康の必要性は理解しているが、なかなか全員に徹底できません。栄養のアンバランス、労働過重が原因なのではないでしょうか。

このように激しい現状を改善しようと、47年度に引き続き48年度も厚生連、保健所、市役所連けいのもとに1,000名を対象に検診を実施し、婦人学校、グループ、若妻教室等を通して、健

康学習をし、意識向上をはかり、併せて食生活の改善を目指し、市民料理教室（1ヵ月に8回木、金曜日）、お台所入門教室（1ヵ月に1回）その他の料理教室を開催します。第6回体育大会、スポーツ大会によって、体力の向上と婦人部組織の強化をはかりながら、組合員家族ぐるみでの健康管理と福祉の増進、生活設計によって「明るく豊かな家庭づくり」を推めていきたいと思っております。

第2図 高岡市農協でうすい血、疲労測定の調査結果は次の通りです

